



第 20 号

1996年 3 月

岡山県古代吉備文化財センター

▲ 西江遺跡（哲西町）出土特殊器台文様



田益田中遺跡の堰

田益田中遺跡の発掘調査

国立病院移転による笹ヶ瀬川調節池建設に伴う岡山市田益田中遺跡の発掘調査は、弥生時代前期の北から南に流れる溝（自然河道？）、微高地上からは土壙（墓？）・柱穴多数が検出されています。河道内からは堰と考えられる杭列、完形の壺をはじめとする土器類、鋤、鍬などの木器類・石鏃・石匙・石包丁などの石器類など多数がみられます。また弥生時代の下層1-

1.4mに縄文時代の河道が北から南へ蛇行しながら流れています。河道内からは後期の土器（彦崎KⅡ-福田KⅡ式）や、局部磨製石斧・石槍などが出土しています。写真の堰は、河道内の一支流から本流に流れ出る数メートル手前に作られています。この周辺から鋤の柄や組み合せ式の鋤・鍬などが出土しています。

（伊藤 晃）

県北流通センター関連発掘調査

岡山県北流通センターは、真庭郡久世町と落合町に跨がる県北経済活動の一大拠点として、平成9年度末の完成を目指して工事が進められています。

現在調査が行われている旦山古墳群・惣台遺跡・先旦山遺跡・野辺張遺跡などは、旭川の支流である目木川と、国道181号線が交差するあたりに広がる沖積平野を取り囲むように、流通センター予定地内に点在しています。

平成7年度の調査では、前年に確認調査を行った惣台遺跡・旦山古墳群の全面調査をはじめとして、流通センター南区域に位置する先旦山遺跡・野辺張遺跡・奥田古墳群の確認調査および全面調査を実施しました。



遺跡位置図 (1/50,000)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 旦山古墳群 | 3. 先旦山遺跡 |
| 2. 惣台遺跡 | 4. 野辺張遺跡 |

旦山古墳群は調査以前には1基だけの古墳と考えられていましたが、調査の結果、円墳3基と方墳1基からなる古墳群であることが確認されました。1号墳は直径約12mの円墳で、埋葬施設に木棺直葬の土壙を検出し、墳丘にはおびただしい数の葺石を伴っていました。2号墳は約8×10mの方墳で、主体部はすでに削平され、存在していませんでした。また直径約17mの円墳とみられる3号墳は、主体部の箱式石棺が盗掘によって破壊された状態で確認されました。これらの古墳の築造された時期は、いずれも5世紀後半とみられます。さらに直径約10mの円墳で、横穴式石室を埋葬施設とする4号墳からは、高杯・平瓶などの須恵器や、刀子・釘など



旦山4号墳石室

の鉄器が出土しました。4号墳の築造時期は、出土遺物から6世紀後半と考えられます。

惣台遺跡と先旦山遺跡は、ともに弥生時代後期と古墳時代後期の時期に主として栄えた集落遺跡で、惣台遺跡では北向きの斜面に、多数の竪穴住居や段状遺構のみならず土壙などが重なった状態で検出され、同じ場所に何度も造り替えが行われたことが推測できます。また先旦山遺跡では、弥生時代後期の竪穴住居が建て替えられるたびに、通常とは逆に規模が縮小していることが確認されました。惣台遺跡・先旦山遺跡ともに大量の弥生土器・土師器・須恵器・鉄器などが出土しています。

尾根の先端部分に位置する野辺張遺跡は、弥生時代後期前半とみられる集落遺跡で、多数の竪穴住居や土壙が検出されましたが、2m以上の深さを測る貯蔵穴とみられる遺構も存在しました。

(伊東 孝)



先旦山遺跡竪穴住居群

苦田ダム関連発掘調査

苦田ダム関連の埋蔵文化財は、水没予定地内の13カ所と湖岸町道予定路線内の11カ所の計24カ所が認められています。この24カ所の遺跡について、平成7年度から順次発掘調査の実施を予定しております。調査初年度となる本年度は、水没予定地内の河内遺跡、河内構、久田下原C遺跡と、湖岸町道予定路線内の久田上原城跡、久田下原B遺跡について調査をしました。全面調査は、河内遺跡、河内構、久田上原城跡で、久田下原C遺跡およびB遺跡については第一次調査を実施したのです。

河内遺跡からは、古墳時代後期の作り付けのカマドをもつ竪穴住居1軒、平安時代の掘立柱建物2棟と廂付掘立柱建物1棟を含む中近世の掘立柱建物7棟や土壇墓などが調査されました。

久田上原城跡は、吉井川東岸の丘陵上にあり、



河内遺跡

水田との比高差は約57mあります。調査前の踏査で郭、曲輪、堀切などの当時の城に関する施設が、たいへん残りの良い状態で認められました。このことから、設計変更をして工事による影響を極力少なくしました。調査した曲輪部分は、幅2mほどで外側に土盛をし、内側は幅80cmで深さ30cmほどの溝が認められました。なお、その溝中には、握りこぶしほどの河原石がありました。

河内構は、吉井川東岸の段丘上に位置してい



久田上原城跡

ます。調査中なので遺跡の全体像は、まだ、明らかになっていませんが、これまでに、解ったことについて見ていきます。「構」というのは、中世の屋敷などの構造物を指すもので、この地点から南へ200mの所に河内城跡が立地していることから、これと関わる遺跡と考えています。これまでに検出された遺構は、溝、井戸、土壇墓、多数の柱穴と土壇が認められています。溝は、幅3～3.5m、深さ50～80cmを測るものですが、深さで解るように南東に行くに従い浅くなっていきます。土壇墓は、「寛永通寶」が副葬しているものがあることから、江戸時代に営まれたものも認められます。このように河内構は、中世や近世の遺構が主ですが、縄文時代早期の押形文の土器や弥生時代後期の貯蔵穴も認められています。

久田下原B遺跡は、谷斜面に製鉄炉の断面が認められていることから、その広がりをつかむためにトレンチ調査をし、ピット、焼土、炭などが認められ、遺跡の広がりを把握することができました。

久田下原C遺跡は、遺跡の広がりを把握するトレンチ調査の結果、圃場整備により大半が削平されていて、認められた遺構の残存状態もあまり良くありませんでした。（下澤公明）

センターの年間事業

調査第一課

調査第一課では、主に県が行う開発事業を中心に、小規模なものについて発掘調査を実施しました。町村が実施する事業の発掘調査についても一部現地指導を行いました。

一次調査として遺跡の広がりや性格の調査をしたものとしては、主要地方道倉敷成羽線建設に伴う中池ノ内遺跡、主要地方道美作奈義線建設に伴う勝田町矢田条里、県道吉備津松島線改良工事に伴う倉敷市上東遺跡・中袋遺跡、三室川ダム建設に伴う神郷町大成山たたら遺跡群、県営圃場整備事業に伴う真備町池田散布地、雇用促進事業団住宅改築に伴う岡山市原尾島遺跡等があります。

市町村指導として実施したものには、奥津町の土地改良総合事業に伴う高下休場遺跡ほか、和気町の土地改良総合事業に伴う樹池遺跡、勝田町圃場整備事業に伴う矢田条里、瀬戸町焼却場建設に伴う開内遺跡の調査があります。

全面的な調査としては、国道429号線改良工事に伴う総社市金井戸・見延遺跡、一次調査で確認された矢掛町中池ノ内遺跡、南方派出所建設に伴う岡山市南方遺跡、岡山陸運支局書庫建設に伴う藤原遺跡があります。市町村指導においても、一次調査で確認された奥津町高下休場遺跡・西屋A遺跡について、設計変更が困難なため、全面調査を実施しました。

一次調査を行った勝田町矢田条里では、中世の溝や杭列、倉敷市上東遺跡では、古墳時代の土壘、岡山市原尾島遺跡では、古墳時代の集落跡、神郷町大成山たたら遺跡群では、中世から近世の製鉄跡が確認され、平成8年度に全面調査が予定されています。

真備町池田散布地では、弥生時代から古代の遺構が検出されましたが、設計変更をして保存することになりました。倉敷市中袋遺跡、和気町樹池遺跡、瀬戸町開内遺跡の施工部分には、遺跡がひろがっていないことが分かりました。

報告書作成事業では、県立大学建設に伴う第

二分冊として、総社市南溝手遺跡、山陽自動車道建設に伴う山陽町斎富遺跡、吉備新線建設に伴う岡山市青谷古墳ほかの報告書を刊行し、県立大学関連の津木遺跡、国道429号線関連の山手村前山遺跡ほかの報告書作成を行いました。市町村指導分でも、奥津町高下休場遺跡ほかの報告書作成を行い、昨年度発掘調査を実施しました中国電力内山下変電所建設に伴う岡山城二の丸跡の報告書作成作業を行いました。

国庫補助を受けて実施している県内詳細分布調査は3年目の最終年度にあたり、中和村、湯原町、勝山町について実施しました。いずれも、新たな遺跡を多数発見することができました。

普及啓発事業としては、平成7年8月19日、「最近の岡山県下における埋蔵文化財発掘調査概要の報告会」を岡山県総合文化センターで実施し、市町村の調査を含めて8本の報告を行いました。今年も「夏休み少年考古教室」を平成7年8月8・9日に開催し、県内から応募のありました小学校6年生33名を対象として行いました。



復元展示中の津寺遺跡護岸施設

平成8年1月23日には、岡山県内の埋蔵文化財専門職員の研修会を行い、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター工業善通氏と高槻市立埋蔵文化財調査センター橋本久和氏から弥生時代・中世の考古学調査の最先端の講演をいただきました。また、山陽自動車道で検出された古代の護岸施設の一部を復元し、展示を行いました。(正岡睦夫)

調査第二課

調査第二課の本年度事業は、真庭郡久世町から落合町にまたがる県北流通センター建設、津山市グリーンヒルズ津山建設、鏡野町内の国道179号バイパス改良工事、県立津山高等学校校舎改築工事、岡山市都市計画道路建設、国立病院移転に伴う笹ヶ瀬川調節池に伴う発掘調査、昨年度発掘調査を行った勝央町ファーマーズマーケット建設に伴う整理・報告書作成作業など、多くの事業を行ってきました。また震災復興のため兵庫県教育委員会に1名派遣されました。

県北流通センター建設に伴う発掘調査は、久世町三崎と中原にまたがる地域で、惣台遺跡・先旦山遺跡・野辺張遺跡・旦山古墳群・奥田古墳などの集落跡や古墳の調査を行いました。集落跡には、弥生時代後期と古墳時代後期の竪穴住居や土城などの遺構が検出され、多くの土器や鉄器などが出土しました。5基の古墳には、埋葬施設が箱式石棺や木棺直葬のものと、7世紀前半の横穴式石室があり、石室内からは須恵器や装身具などの遺物が多く検出されました。

グリーンヒルズ津山建設事業に伴う発掘調査は、昨年度に引き続き大田茶屋遺跡その他の調査を行い、今年度をもって予定地内の発掘調査を終了しました。大田茶屋遺跡では弥生時代～近世にいたる各時期の遺構が検出されました。特に古代の遺構として大規模な建物群、柵列等が検出され、美作の古代史を考える上で貴重な資料となりました。その他にも弥生時代～近世にいたる遺構・遺物が検出されています。

国道179号バイパス建設に伴う発掘調査は、大開遺跡・六番丁場遺跡・九番丁場遺跡・確認調査などを行い、大開遺跡からは古墳時代初頭と考えられる住居跡1棟、奈良時代と推定される掘立柱建物2棟などです。掘立柱建物は、梁間3間、桁行5間で、主軸の方向はほぼ南北を向き、2棟の建物はほぼ同じ規模・軸線上に建てられています。六番丁場遺跡からは3棟の掘立柱建物と溝などを検出しました。建物は3間×1間のものと古墳時代以前と考えられる梁間、桁行ともに2間の総柱建物1棟と側柱建物1棟です。側柱建物は、大開遺跡の建物と同じで、

棟方向を直交させるものです。九番丁場遺跡からは弥生時代後期の住居跡、古墳時代後期の住居跡、掘立柱建物などを検出しました。確認調査は河岸段丘から低位部の調査を行いました。結果は、浅いトレンチで現地表面から約30cm、深いトレンチで約1mで砂層もしくは礫層を検出し、この一帯は香々美川の旧河川敷と考えられ、その後低湿地を形成しながら現在に至るものと考えられます。

県立津山高等学校の校舎改築に伴う発掘調査は、十六夜山古墳の周濠および江戸期の城下町の一部を検出しました。十六夜山古墳の周濠内からは多くの埴輪片が出土し、また周濠の範囲から十六夜山古墳が周濠をもつ墳長約60mの前方後円墳であることが判りました。築造された時期は5世紀後半と考えられます。また、江戸時代の遺構として武家屋敷内の井戸および城下町の道の一部を検出しました。

都市計画道路の建設に伴う発掘調査は、平成3年度から実施されています。今年度は、J R津山線から東の県道岡山一吉井線へかけての北方地藏遺跡の調査を行いました。遺構は、主に3面ありました。中世の面では、鎌倉時代の粘土採掘坑と思われる、直径1m前後の長方形や楕円形の土坑が数百個検出されました。弥生後期の面では、調査区西側で水田畦畔、微高地となる東側で溝が数十条検出されました。弥生前期の面では、調査区西側を中心に南北方向の水田畦畔が検出され、東側は微高地になっており溝が数条検出されました。

笹ヶ瀬川調節池・田益田中遺跡の概要については1ページを参照して下さい。(伊藤 晃)



田益・田中遺跡出土の鋤先

調査第三課

本年度の調査第三課の事業は、旭川放水路（百間川）の改修工事に伴う発掘調査と報告書作成、国道313号犬伏峠改良工事に伴う発掘調査と報告書作成、国道2号バイパス建設に伴う発掘調査と報告書作成、また岡山調整池建設・国道2号線原尾島拡幅・国立岡山病院建設・苦田ダム建設にそれぞれ伴う発掘調査と国道53号（キャブ）建設・中国横断道（総社工事区）建設・新勝中央核工業団地建設にそれぞれ伴う報告書作成を実施しました。

旭川放水路の調査は、岡山市竹田二の荒手右岸導流堤の一部（4～6月）と、岡山市百間川米田遺跡の一部（7～3月）を行いました。二の荒手右岸導流堤は、現在の石垣の内部にそれ以前の石垣の一部とさらに古い石組みの根石が見つかり、何度か改修されていたことがわかりました（本紙第19号参照）。米田遺跡は、微高地端部に古代から中世にかけて埋まった貝塚を伴う大溝が検出され、鉄製鋤先や碗・皿・鍋などの多くの日常雑器、白磁も出土しています。

国道313号の調査は、真庭郡八束村下長田上野遺跡と同上野古墳群を対象にして、4月から5月初めまで実施しました。調査の結果、上野1・2号の2つの古墳は周堀から出土した土器等から5世紀の後半で、1号墳の下には古墳時代初め頃の2基の土器棺墓が見つっています。さらに、古墳下を含む周辺の現地表下約1mに、厚さ約20cmの始良火山層があり、その直下からおもに石英の原石・石核・剥片など250点あまりの石器類が発見されています。（詳細は本紙第19号・および刊行報告書参照）

国道2号バイパスの調査は、岡山市根岸古墳を対象に4月から7月まで実施しました。この古墳は、墳丘の約半分を開墾によって削られ、横穴式石室の一部も破壊を受けていましたが、床面からは盗掘を免れた耳環や玉類、鉄刀や鉄鏃、馬具などの副葬品が多数出土しています。（詳細は本紙第19号参照）

岡山調整池の調査は、岡山市大日幡山城出城と寺山7・8号墳などを4月から9月まで実施しました。城の郭面では、はっきりとした建物

は見つかっていませんが、郭面の本丸側の尾根には、尾根を両側から堀状に挟り込み通路を狭くした遺構が確認されています。2基の古墳はどちらも径9m弱の円墳で、木棺直葬の7号墳は主体部から直刀や轡が出土しています。（詳細は本紙第19号参照）

国道2号原尾島拡幅の調査は、岡山市原尾島遺跡を7月から12月まで実施しました。道路に沿った狭くて細長い調査区でしたが、おもに弥生時代後期の水田や水路などがほぼ全面に検出され、百間川の低水路で見ついている水田が堤防の外側の南西部にも予想外に拡がりをもつことがわかりました。

国立岡山病院の調査は、岡山市田益の田益田中遺跡を4月から年間を通じて実施しました。調査地区全体に弥生時代前期から後期の溝が多数見つっていますが、その約1m下面には縄文時代後期の旧河道が部分的に認められています。土器も比較的多く、縄文時代の後期にはすでに沖積平野への進出があったようです。

苦田ダムの調査は、奥津町河内遺跡・河内構・久田上原城跡、一次調査として久田下原B・C遺跡を年間を通じて実施しました。河内遺跡は、古墳時代の竪穴住居1軒、平安時代の建物2棟、戦国時代の建物7棟などが見つかりました。久田上原城跡は丘陵頂部の郭とそれを取り巻く腰曲輪や曲輪、さらに隣接する丘陵との尾根を三重に切る堀切りなどが良く残っており、当初郭・腰曲輪・曲輪の一部が調査対象になっていましたが、設計変更により郭を含む大部分が保存されました。河内構遺跡は弥生時代後期の貯蔵穴や戦国時代の建物や溝、江戸時代の井戸などが見つっています。

なお、今年度は下記の報告書を刊行しました。

「下長田上野古墳群・上野遺跡」	【調査報告103】
「百間川原尾島遺跡5」	【調査報告106】
「西山古墳群・田益田中遺跡」	【調査報告109】
「南方・絵図遺跡」	【調査報告110】
「茂平城・畑ノ平古墳群ほか」	【調査報告111】
「大木古墳群・大村遺跡ほか」	【調査報告113】
「百間川兼基2・今谷遺跡2」	【調査報告114】

（柳瀬昭彦）

平成7年度埋蔵文化財専門職員研修会

当研修会は、埋蔵文化財専門職員の資質の向上を目的として、県内の行政機関における専門職員を対象に、隔年で実施しています。今年度は1月23日、57名の参加を得て開催しました。

講師には、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターの工楽善通センター長、高槻市立埋蔵文化財調査センターの橋本久和主任をお迎えしました。工楽氏は「木製品から弥生時代の実年代を探る」と題し、年輪年代測定最新の成果を紹介されました。従来一般的に考えられていた弥生時代の実年代観と若干異なる結果となっており、講演後の意見交換も盛んに行われました。橋本氏は「中世土器研究の現状と課題」と題して、非常に幅広い内容について概説し、問題点をまとめられました。私たちは中世の遺跡を調査する機会も多く、調査に即役立つ内容も多く含まれていました。(尾上元規)



工楽善通氏の講演



橋本久和氏の講演

最近の報告書から

当センターでは、これまでに114冊もの発掘調査報告書を刊行しています。ここでは最近刊行された報告書について簡単にご紹介します。

国道313号線改良工事に伴って発掘調査を実施した八束村の上野遺跡では、古墳時代前期の方墳の下から旧石器がまとまって出土し、注目されました。

縄文土器から耒のあとが見つかった話題となった総社市南溝手遺跡は、県立大学建設に伴い調査したものです。ここでは弥生～古墳時代の集落や水田のほか、最も古い玉つくりの跡も報告されています。

岡山市の百間川遺跡では、河川改修工事に伴って発掘調査を実施してきましたが、今回も弥生～古墳時代の集落や水田に関する貴重な成果を掲載しています。

山陽自動車道に伴い発掘調査を行った岡山市津寺遺跡は、弥生～古墳時代の大規模な集落跡で、東海・北陸・畿内・山陰・四国などの地域

から運ばれた土器が出土し、当時の交流の拠点であったことがわかりました。また、山陽町斎富遺跡では、朝鮮半島とのつながりを窺わせるような古墳時代の土器や奈良時代の官衙と見られる遺構などを収載しています。

国道53号線関連で調査した岡山市西山古墳群は、横穴式石室が築かれ始めたころのもので、墓の構造や副葬品の移り変わりを見ることができます。

中国横断道建設に伴って調査した賀陽町の大村遺跡は、これまで調査例の少なかった中世～近世の墓地で、多数の石塔や骨蔵器が出土しています。

これらの遺跡の報告書は、県内の市町村教育委員会や各都道府県の関係機関などに配布して、学術研究や文化財の保護保存のために活用されています。希望者の方には頒布しておりますが、数に限りがございますのでお早めにお申し込みください。

岡山県古代吉備文化財センター発掘調査一覧表 (平成7年度)

遺跡名	所在地	調査原因	種別	遺跡の内容	調査期間	調査面積
南方遺跡	岡山市南方2丁目	派出所建設	確認	弥生～近代の水田	8.28～9.12	65㎡
藤原遺跡	岡山市藤原24-1	陸運支局書庫建設	確認	弥生時代の水田	10.2～11.7	110㎡
上東遺跡・中袋遺跡	倉敷市上東・二子	県道改良	確認	古墳時代の集落	12.4～12.14	60㎡
大成山たたら遺跡群	阿智郡神郷町油野字大成	三宮川ダム建設	確認	近世～近代の製鉄遺跡	5.8～6.23	756㎡
原尾島遺跡	岡山市藤原光町3丁目	雇用促進住宅改築	確認	古墳時代の集落	12.6	28㎡
関内遺跡	赤磐郡瀬戸町万富字笠尾	焼却場建設	確認	遺構、遺物なし	12.12	80㎡
中池ノ内遺跡	小田郡矢掛町中	主要地方道建設	確認	弥生～古墳時代の集落、墓	4.17～4.19	40㎡
中池ノ内遺跡	小田郡矢掛町中	主要地方道建設	全面	弥生～古墳時代の集落、墓	5.31～7.13	400㎡
矢田奈里	勝田郡勝田町矢田	主要地方道建設	確認	中世の奈里遺構	11.6～11.14	60㎡
矢田奈里	勝田郡勝田町矢田	団地整備	確認	中世の奈里遺構・集落	11.15～11.27	66㎡
株池遺跡	和気郡和気町古田	土地改良総合整備	確認	遺構、遺物なし	12.5～12.7	102㎡
池田敷布地	吉備郡真備町有井	団地整備	確認	弥生・古代の集落	1.8～1.17	90㎡
高下休場遺跡	苫田郡美津町西屋	土地改良総合整備	全面	製鉄遺跡	7.1～8.4	825㎡
西屋A遺跡	苫田郡美津町西屋	土地改良総合整備	全面	縄文～弥生の集落	8.2～8.25	510㎡
金井戸・見延遺跡	総社市井手	国道429号改良	全面	弥生～中世の集落	4.1～9.30	1,890㎡
大淵遺跡他	苫田郡鏡野町有原	国道179号改良	全面	弥生～古代の集落	4.1～3.31	15,500㎡
十六夜山古墳群	津山市椿高下62	津山高校改築	全面	弥生時代の集落、古墳、城下町	9.1～12.15	2,920㎡
田益田中遺跡	岡山市田益	調節池建設	全面	縄文～弥生時代の集落	4.1～3.31	9,000㎡
且山古墳群	真庭郡久世町中原	県北流通センター建設	全面	古墳	4.1～6.30	1,700㎡
惣台遺跡2区	真庭郡久世町三崎	県北流通センター建設	全面	弥生～古墳時代の集落	7.1～8.15	1,070㎡
先且山遺跡1区	真庭郡久世町中原	県北流通センター建設	全面	弥生～古墳時代の集落	8.16～11.30	3,300㎡
野辺渡遺跡	真庭郡久世町中原	県北流通センター建設	全面	弥生時代の集落	12.1～2.29	1,000㎡
奥田古墳	真庭郡久世町中原	県北流通センター建設	全面	古墳	1.1～3.15	1,200㎡
先且山遺跡2区	真庭郡久世町中原	県北流通センター建設	全面	弥生～古墳時代の集落	2.1～2.29	800㎡
水神ヶ山谷遺跡	真庭郡久世町中原	県北流通センター建設	全面	中・近世の墓	3.1～3.31	300㎡
大田茶屋遺跡	津山市大田茶屋	グリーンヒルズ津山建設	全面	弥生～近世の集落・古墳	4.1～3.31	15,140㎡
大田大正開遺跡	津山市大田大正開	グリーンヒルズ津山建設	全面	弥生～近世の集落	4.1～3.31	1,794㎡
大田障子遺跡	津山市大田障子	グリーンヒルズ津山建設	全面	弥生～近世の集落	4.1～5.18	3,339㎡
大田西奥田遺跡	津山市大田西奥田	グリーンヒルズ津山建設	全面	弥生～近世の集落	10.6～2.22	1,254㎡
河内遺跡	苫田郡美津町河内	苫田ダム建設	全面	平安～室町時代の集落	5.8～9.30	4,830㎡
久田下原C遺跡	苫田郡美津町久田下原	苫田ダム建設	一次	弥生時代の集落	10.11～10.13	540㎡
久田下原B遺跡	苫田郡美津町久田下原	苫田ダム建設	一次	製鉄遺跡	11.6～11.7	60㎡
久田上原城跡	苫田郡美津町久田上原	苫田ダム建設	全面	中世の山城	10.16～11.14	1,000㎡
河内橋	苫田郡美津町高倉	苫田ダム建設	全面	中世の集落	9.11～3.28	5,580㎡
根岸古墳	岡山市竹原	国道2号バイパス建設	全面	古墳・中世の墓	4.1～6.30	500㎡
原尾島遺跡	岡山市原尾島	国道2号改良	全面	弥生～中世の水田	7.1～12.28	1,720㎡
百間川遺跡群	岡山市竹田・原尾島・米田	旭川放水路改修	全面	弥生時代の水田・中～近世の水路	4.1～3.31	5,385㎡
大日輪山城間迹	岡山市寺山内ヶ原	岡山調整池建設	全面	中世の山城、弥生～古墳時代の墓	4.1～9.29	2,400㎡
田益田中遺跡	岡山市田益	国立病院建設	全面	縄文～中世の集落	4.1～3.31	18,000㎡
北方美成遺跡・中溝遺跡	岡山市大和町・学南町	都市計画道路建設	全面	弥生～古墳時代の水田	4.1～3.31	4,320㎡

編集・発行

岡山県古代吉備文化財センター

所在地 〒701-01
岡山市西花尻1325-3
電話 (086)293-3211

●交通案内

- ・JR山陽本線庭瀬駅下車タクシー10分
- ・JR吉備線吉備津駅下車徒歩25分
- ・JR岡山駅下車岡電バス岡山駅前より
神道山行終点下車徒歩5分
- ・山陽自動車道岡山総社ICより15分

